

2023年8月吉日

ドッジボールでスポーツの素晴らしさを身に着けよう

—練習は不可能を可能にする—



開倫ユネスコ協会
会長 林 明夫

第6回開倫ユネスコ杯 福島オーブンドッジボール選手権大会にご参加いただき、ありがとうございます。心から感謝いたします。4年目に入ったコロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻という厳しい状況の中ではありますが、コロナ禍の一日も早い終息とウクライナの一日も早い平和を願って、元気にドッジボールにお励みいただきたく希望いたします。

皆様は、ドッジボールをはじめ、スポーツの素晴らしさは何だとお考えですか。私は、次の3つであると考えます。

第1は、スポーツを通して「練習は不可能を可能にする」ということを実感できることだと思います。ドッジボールを練習すればするほど、スキル（技術）がどんどん向上します。

第2は、「フェア・プレイの精神」です。ドッジボールをはじめ、すべてのスポーツにはルールがあり、ルールの中でのプレイが求められます。また、ルールを守るだけでなく、卑しいプレイをしないことが求められます。ルールの中でプレイをすること、卑しいプレイをしないことを「フェア・プレイの精神」というと考えます。ドッジボールを通して「フェア・プレイの精神」を身に付けてください。

第3は、「よき友」です。ドッジボールをはじめスポーツをすることで、同じスポーツに打ち込む「よき友」ができます。

皆様が今日ここで思い切りプレイができるのは、これまで皆様を育ててくださったご家族の皆様、指導してくださったコーチ・監督といった地域の人達のお陰です。感謝の気持ちを大切に、今日一日、練習の成果を存分に発揮し、オリンピック・パラリンピックや高校野球の選手に負けないよう、元気にプレイをしてください。

本大会にご参加くださいましたすべての選手・保護者・監督・コーチ・観客の皆様、そして、何よりも、審判員の先生方や各地ドッジボール協会関係各位の皆様に、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

今後ともご指導ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

感謝

開倫塾 塾長
学校法人有朋学園 有朋高等学院 理事長